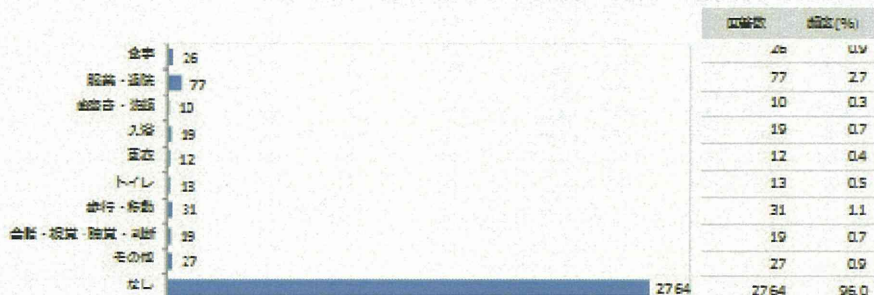


4. 介助

図表 4-1 介助(H-19)

H-19 日常生活で、他の人の介助が必要なことはありますか。(複数回答) 調査対象者2021(有効回答者2754名(図表4-2))
有効回答率95.3%



図表 4-2 介助(H-19)×年齢・性別(H-1,H-2)

H-19 日常生活で、他の人の介助が必要なことはありますか。(複数回答)

性別	年齢	介助の種類										なし	調査対象者	男性	女性
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
男性	20代	14	5	7	12	8	7	15	1	7	27	1571	1673	84	1613
	30代未満	3	5	2	2	2	2	1	3	2	4	422	424	22	144
	30～39歳	1	5	1	1	1	1	2	3	1	3	284	402	19	181
	40～49歳	4	12	2	4	2	1	5	3	2	5	525	278	23	100
	50～59歳	8	9	2	4	3	3	7	3	2	2	230	244	11	104
	60～69歳	11	48	2	7	4	8	18	1	12	11	1124	1280	30	1502
	70歳以上	1	4	1	0	1	1	1	1	1	7	747	744	22	144
	70～79歳	3	8	0	2	0	1	2	1	5	2	245	250	6	104
	80～89歳	5	17	2	2	2	3	9	4	5	3	301	320	10	107
	90歳以上	3	19	0	2	1	1	5	1	2	0	158	180	10	100
性別	χ ²	0.0	2.6	1.7	0.3	0.4	0.1	1.0	0.0	2.9	11.5				
	p	0.992	0.002	0.417	0.808	0.512	0.740	0.311	0.960	0.002	0.010				
	n.s.	n.s.	<0.05	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	<0.05	<0.05				
	χ ²	10.0	7.2	1.3	4.3	2.7	5.1	14.1	0.3	1.3	4.7				
	p	0.002	0.007	0.243	0.034	0.101	0.023	0.002	0.579	0.259	0.022				
	n	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3				
	χ ²	3.2	31.0	2.1	2.3	1.5	0.3	7.7	2.9	1.1	21.2				
	p	0.074	<0.001	0.147	0.126	0.219	0.621	0.006	0.089	0.293	<0.001				
	n.s.	n.s.	<0.05	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	<0.05				

図表 4-3 介助(H-19)×病態

H-19 日常生活で、他の人の介助が必要なことはありますか。(複数回答)

性別	病態	介助の種類										なし	調査対象者	男性	女性
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
女性	がん	14	24	3	12	10	7	18	11	17	15	1510	1524	28	1500
	肝がん	2	10	1	1	0	0	3	2	2	2	280	270	12	100
	肺がん	6	25	2	3	2	4	9	2	4	5	520	530	24	100
	χ ²	0.8	11.7	0.1	0.7	5.0	2.1	2.5	1.1	0.9	8.4				
	p	0.371	0.001	0.750	0.398	0.023	0.147	0.147	0.293	0.293	0.002				
	n.s.	n.s.	<0.05	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	<0.05				

日常生活で、他の人の介助が必要なことがあるか尋ねたところ、有効回答者の2.7%は「服薬・通院」と回答している。次いで、「歩行・移動」1.1%となっている。また、96.0%は「なし」と回答している(図表4-1)。性別で有意差があったのは「服薬・通院」で、女性が多かった。年齢別には、男性の場合、「食事」に介助が必要な人が70歳以上に多く、女性の場合、「服薬・通院」が高齢ほど多かった(図表4-2)。病態別には、「服薬・通院」に介助が必要な人が肝がんが多かった(図表4-3)。

図表 4-4 介助者有無(H-20)

H-20 前問 (H-19) で2に○をした方にお尋ねします。あなたの服薬・通院について介助をしてくださる方はいらっしゃいますか。
(単一回答)

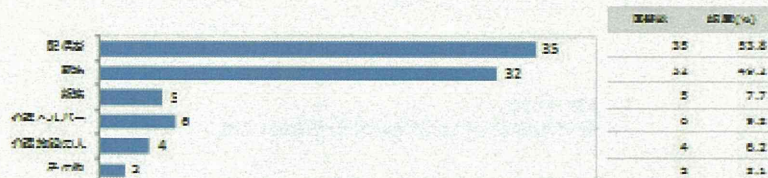
有効回答数 77 (有効回答率94.3%)
有効回答率94.3%



図表 4-5 介助者(H-20-1)

H-20-1 はいの場合、それはどなたですか。(複数回答)

有効回答数 65 (有効回答率93.8%)
有効回答率93.8%

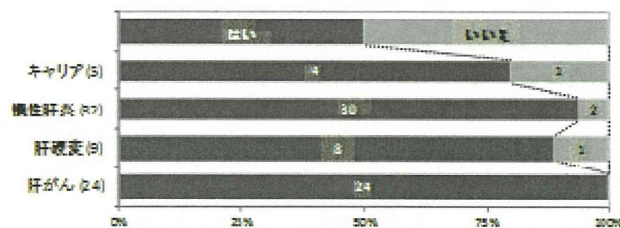


図表 4-6 介助者有無(H-20)×病態

H-20 前問 (H-19) で2に○をした方にお尋ねします。あなたの服薬・通院について介助をしてくださる方はいらっしゃいますか。(単一回答)

	1		2		※カッコ内は有病割合を分母とする 割合		
	はい	いいえ	回答数	割合	回答数	割合	有病割合
TOTAL	66 (94.3)	4 (5.7)	77		7		70
キャリア	4 (80.0)	1 (20.0)	5		3		5
慢性肝炎	30 (93.8)	2 (6.2)	34		2		32
肝硬変	8 (88.9)	1 (11.1)	10		1		9
肝がん	24 (100.0)	0 (0.0)	25		1		24

$\chi^2=2.9, df=2, p=0.278$



日常生活で服薬・通院に他の人の介助が必要であると回答した方へ、介助してくださる方がいるか尋ねたところ、有効回答者の94.3%が介助してくれる方はいると回答している(図表4-4)。

日常生活で服薬・通院に介助してくださる方がいると回答した方へ、介助してくださる方について尋ねたところ、有効回答者の53.8%が「配偶者」と回答している。次いで、「家族」が49.2%となっている(図表4-5)。病態別に有意差は見られなかった(図表4-6)。

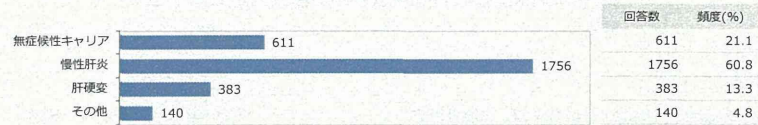
5. 疾患および受療の状況

a. 病名

図表 5a-1 病名(G-4)

G-4 病名はどのように説明されていますか。(単一回答)

調査対象数3021 (有効回答数2890,無回答131)
有効回答率95.7%



図表 5a-2 病名(G-5)

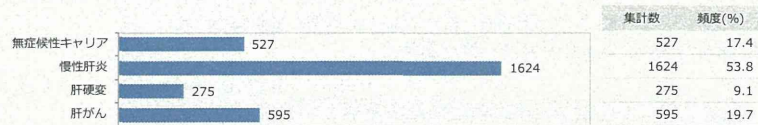
G-5 肝がんと診断を受けたことはありますか。(単一回答)

調査対象数3021 (有効回答数2938,無回答83)
有効回答率97.3%



図表 5a-3 病態

A-2,G-4,G-5から調整したのちの病態

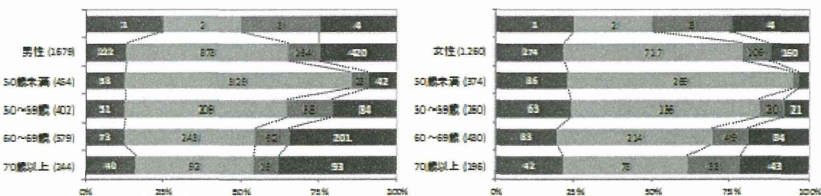


図表 5a-4 病態×年齢・性別(H-1,H-2)

A-2, G-4, G-5から調整したのちの病態

	病態				この病態は有病割合を最もとする病態		
	1 無症候性キャリア	2 慢性肝炎	3 肝硬変	4 肝がん	調査対象数	無回答	有効回答
TOTAL	496 (16.9)	1590 (54.1)	273 (9.2)	590 (19.7)	2,938	0	2,938
男性	222 (13.2)	873 (52.0)	164 (9.8)	420 (23.0)	1,678	0	1,678
50歳未満	58 (12.5)	329 (72.5)	25 (5.5)	42 (9.3)	454	0	454
50~59歳	51 (12.7)	209 (52.0)	58 (14.4)	84 (20.9)	402	0	402
60~69歳	73 (12.6)	243 (42.0)	62 (10.7)	201 (34.7)	578	0	578
70歳以上	40 (16.4)	92 (37.7)	19 (7.8)	93 (38.1)	244	0	244
女性	274 (21.7)	717 (56.9)	109 (8.7)	180 (12.7)	1,260	0	1,260
50歳未満	86 (23.0)	269 (71.9)	7 (1.9)	12 (3.2)	374	0	374
50~59歳	63 (24.2)	156 (60.0)	20 (7.7)	21 (8.1)	280	0	280
60~69歳	83 (19.2)	214 (49.5)	49 (11.4)	84 (19.5)	430	0	430
70歳以上	42 (18.4)	78 (33.5)	33 (14.5)	43 (18.5)	196	0	196

男性年齢 ($\chi^2=164.8, df=3, p=0.000$)・女性年齢 ($\chi^2=130.4, df=3, p=0.000$)・性別 ($\chi^2=50.5, df=3, p=0.000$)

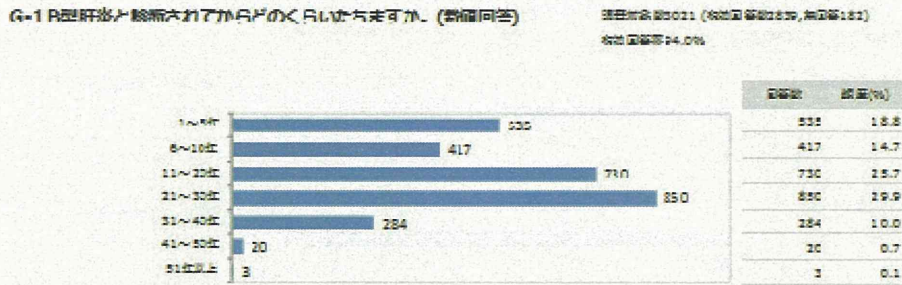


現在の病態について尋ねたところ、有効回答者の60.8%は「慢性肝炎」と回答している。次いで、「無症候性キャリア」が21.1%となっている(図表 5a-1)。肝がんを診断を受けたことがあるか尋ねたところ、有効回答者の18.8%は肝がんを診断を受けたと回答している(図表 5a-2)。

現在治療 A-1 (b)、重症治療 A-2、病名 G-4、肝がん診断 G-5 の回答結果から病態を判断したところ、「慢性肝炎」が53.8%、次いで、「肝がん」が19.7%となっている(図表 5a-3)。この病態を男女別に見ると、「無症候性キャリア」「慢性肝炎」は女性に多く、「肝がん」は男性が多い。年齢別には、男女ともに高齢になるほど病態が進行する様子が見られる(図表 5a-4)。

b. 期間

図表 5b-1 期間(G-1)

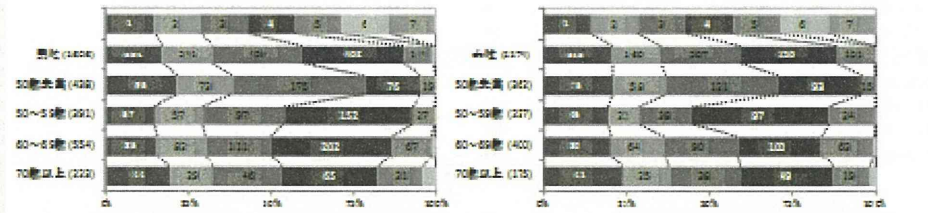


図表 5b-2 期間(G-1)×年齢・性別(H-1,H-2)

G-1 B型肝炎と診断されてからどのくらいたちますか。(単一回答)

	期間							回答数	割合	有効回答
	5年以下	6～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51年以上			
TOTAL	535 (10.7)	417 (8.3)	730 (14.5)	850 (16.9)	284 (5.7)	20 (0.4)	3 (0.1)	1829	36.6	1700
男性	281 (7.2)	241 (6.2)	429 (11.1)	493 (12.7)	144 (3.7)	14 (0.4)	2 (0.1)	1079	22.0	1020
50歳未満	25 (0.7)	73 (18.7)	175 (45.0)	78 (20.0)	19 (4.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	454	10.0	430
50～59歳	27 (4.0)	27 (3.8)	97 (13.5)	152 (21.0)	27 (3.7)	1 (0.1)	0 (0.0)	402	11.2	391
60～69歳	95 (15.2)	92 (15.0)	111 (18.0)	202 (32.5)	87 (14.1)	5 (0.8)	2 (0.3)	579	29.5	558
70歳以上	44 (9.7)	29 (6.2)	46 (9.8)	85 (18.1)	21 (4.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	244	21.2	220
女性	254 (10.4)	189 (7.8)	297 (12.4)	297 (12.4)	121 (5.1)	8 (0.3)	1 (0.0)	1000	20.0	978
50歳未満	75 (10.7)	59 (8.5)	121 (17.4)	93 (13.1)	15 (2.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	274	12.2	262
50～59歳	48 (8.4)	22 (3.8)	39 (6.8)	97 (17.0)	24 (4.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	280	23.2	237
60～69歳	90 (15.0)	84 (14.0)	90 (15.0)	100 (16.7)	83 (13.8)	2 (0.3)	1 (0.1)	420	30.0	400
70歳以上	41 (9.2)	25 (5.6)	38 (8.4)	49 (10.7)	3 (0.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	198	21.1	178

男性性別: $\chi^2=44.0, df=6, p<0.001$ 女性性別: $\chi^2=78.1, df=6, p<0.001$ 性別: $\chi^2=11.2, df=6, p<0.01$

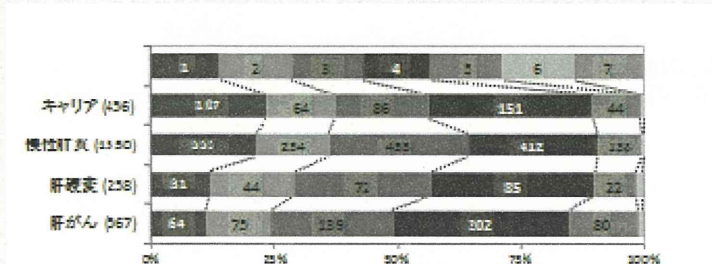


図表 5b-3 期間(G-1)×病態

G-1 B型肝炎と診断されてからどのくらいたちますか。(単一回答)

	期間							回答数	割合	有効回答
	5年以下	6～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51年以上			
TOTAL	535 (10.7)	417 (8.3)	730 (14.5)	850 (16.9)	284 (5.7)	20 (0.4)	3 (0.1)	1829	36.6	1700
キャリア	107 (22.0)	84 (17.2)	98 (20.2)	151 (31.1)	44 (9.1)	4 (0.8)	0 (0.0)	387	21.1	330
慢性肝炎	203 (37.4)	234 (41.8)	403 (72.3)	412 (74.0)	139 (24.8)	9 (1.6)	0 (0.0)	1024	56.0	1020
肝硬化	21 (3.9)	44 (7.9)	72 (12.8)	85 (14.8)	32 (5.6)	1 (0.2)	1 (0.2)	273	15.0	230
肝がん	84 (15.6)	75 (13.6)	129 (23.3)	202 (36.3)	80 (14.4)	5 (0.9)	2 (0.4)	597	33.5	557

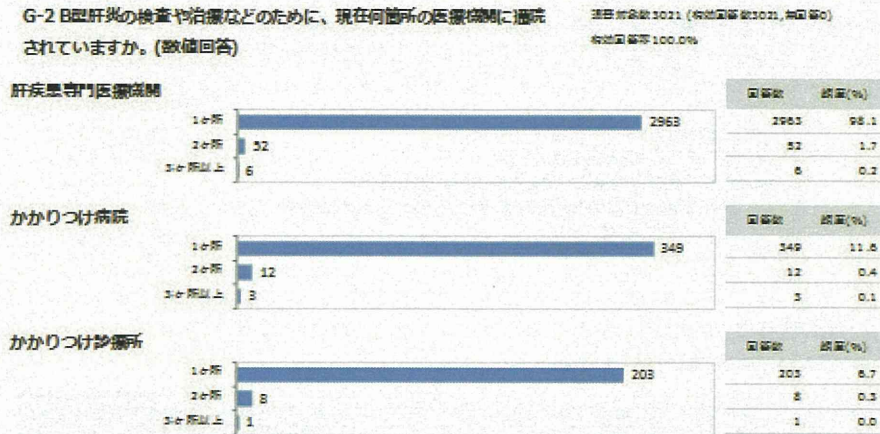
$\chi^2=224.2, df=6, p<0.0001$



B型肝炎と診断されてからの経過年数について尋ねたところ、有効回答者の29.9%は21年以上30年以内と回答している。次いで、11年以上20年以内が25.7%となっている(図表 5b-1)。性別では有意差がなかった。年齢別では、男女ともに高齢ほど経過年数も長い傾向が見られた(図表 5b-2)。病態別では、病態が進むほど経過年数が長かった(図表 5b-3)。

c. 医療機関

図表 5c-1 医療機関(G-2)

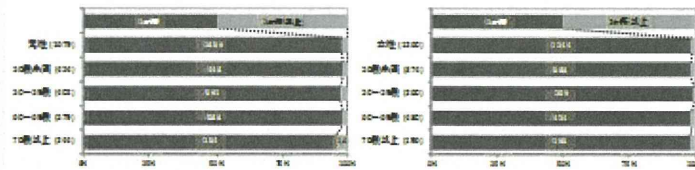


図表 5c-2 専門病院(G-2(a))×年齢・性別(H-1, H-2)

G-2(a) B型肝炎の検査や治療などのために、現在何箇所の肝疾患専門医療機関に来院されていますか。(単一回答)

	1		2		※カッコ内は有効回答数を分母とする割合		
	1ヶ所	2ヶ所以上	調査対象数	無回答	有効回答		
TOTAL	2963 (98.1)	36 (1.9)	2,929	0	2,929		
男性	1839 (97.8)	40 (2.4)	1,879	0	1,879		
50歳未満	448 (98.2)	8 (1.8)	454	0	454		
50～59歳	391 (97.3)	11 (2.7)	402	0	402		
60～69歳	568 (98.1)	11 (1.9)	579	0	579		
70歳以上	234 (98.2)	10 (4.1)	244	0	244		
女性	1244 (98.7)	16 (1.3)	1,260	0	1,260		
50歳未満	368 (98.4)	6 (1.6)	374	0	374		
50～59歳	239 (99.6)	1 (0.4)	240	0	240		
60～69歳	424 (98.6)	6 (1.4)	430	0	430		
70歳以上	193 (98.5)	3 (1.5)	196	0	196		

男性年齢 ($\chi^2=4.6$, $df=3$, $p=0.200$)・女性年齢 ($\chi^2=2.1$, $df=3$, $p=0.548$)・性別 ($\chi^2=4.6$, $df=1$, $p=0.032$)

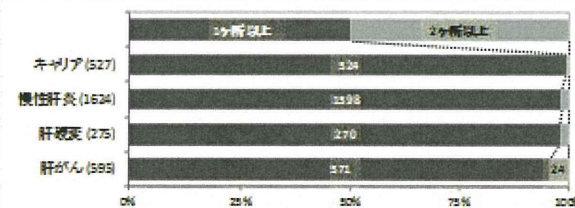


図表 5c-3 専門病院(G-2(a))×病態

G-2(a) B型肝炎の検査や治療などのために、現在何箇所の肝疾患専門医療機関に来院されていますか。(単一回答)

	1		2		※カッコ内は有効回答数を分母とする割合		
	1ヶ所以上	2ヶ所以上	調査対象数	無回答	有効回答		
TOTAL	2963 (98.1)	36 (1.9)	3,021	0	3,021		
キャリア	524 (99.4)	3 (0.6)	527	0	527		
慢性肝炎	1,598 (98.4)	26 (1.6)	1,624	0	1,624		
肝硬変	270 (98.2)	5 (1.8)	275	0	275		
肝がん	571 (98.0)	24 (4.0)	595	0	595		

$\chi^2=20.1$, $df=3$, $p=0.000$

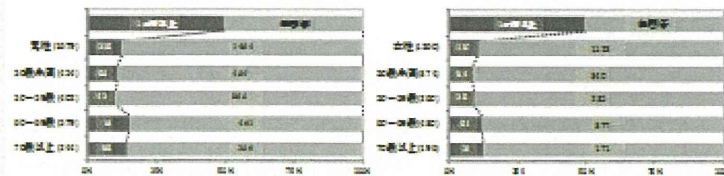


図表 5c-4 かかりつけ病院(G-2(b))×年齢・性別(H-1,II-2)

G-2(b)B型肝炎の検査や治療などのために、現在何箇所のかかりつけ病院に通院されていますか。(単一回答)

	1		2		※付加欄には複数回答を公算とする推定		
	1ヶ所以上	無回答	無回答多数	不明	有効回答		
TOTAL	352 (11.0)	2557 (80.0)	2325	0	2329		
男性	215 (13.0)	1454 (87.0)	1,075	0	1,079		
50歳未満	50 (11.0)	404 (89.0)	454	0	454		
50-59歳	42 (11.4)	350 (88.6)	402	0	402		
60-69歳	38 (11.2)	491 (94.8)	575	0	579		
70歳以上	45 (14.2)	299 (85.7)	244	0	244		
女性	147 (11.2)	1123 (80.1)	1,250	0	1,250		
50歳未満	44 (9.1)	440 (90.9)	474	0	474		
50-59歳	15 (9.6)	235 (90.4)	250	0	250		
60-69歳	53 (11.0)	377 (89.0)	430	0	430		
70歳以上	35 (12.8)	171 (87.2)	196	0	196		

男性年齢($\chi^2=0.6, df=3, p=0.972$)・女性年齢($\chi^2=2.2, df=3, p=0.547$)・性別($\chi^2=25, df=1, p=0.110$)

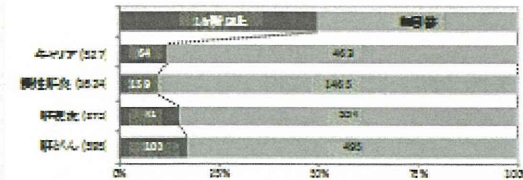


図表 5c-5 かかりつけ病院(G-2(b))×病歴

G-2(b)B型肝炎の検査や治療などのために、現在何箇所のかかりつけ病院に通院されていますか。(単一回答)

	1		2		※付加欄には複数回答を公算とする推定		
	1ヶ所以上	無回答	無回答多数	不明	有効回答		
TOTAL	354 (12.0)	2557 (80.0)	2,021	0	2,021		
キャリア	34 (12.1)	450 (87.9)	527	0	527		
慢性肝炎	109 (9.5)	1491 (90.5)	1,524	0	1,524		
肝硬変	41 (18.0)	204 (82.0)	275	0	275		
肝がん	100 (12.4)	491 (87.6)	590	0	590		

$\chi^2=22.1, df=3, p<0.000$

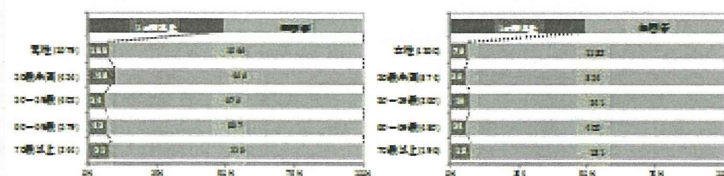


図表 5c-6 かかりつけ診療所(G-2(c))×年齢・性別(H-1,H-2)

G-2(c)B型肝炎の検査や治療などのために、現在何箇所のかかりつけ診療所に通院されていますか。(単一回答)

	1		2		※付加欄には複数回答を公算とする推定		
	1ヶ所以上	無回答	無回答多数	不明	有効回答		
TOTAL	914 (11.0)	7173 (80.0)	5,025	0	5,029		
男性	433 (11.0)	3,545 (89.0)	1,875	0	1,879		
50歳未満	46 (11.1)	408 (88.9)	454	0	454		
50-59歳	34 (10.0)	378 (94.0)	402	0	402		
60-69歳	42 (11.2)	337 (88.7)	575	0	579		
70歳以上	51 (16.6)	228 (83.4)	244	0	244		
女性	78 (10.2)	1,123 (89.8)	1,250	0	1,250		
50歳未満	10 (10.2)	84 (99.8)	74	0	74		
50-59歳	19 (11.2)	241 (88.7)	250	0	250		
60-69歳	14 (11.0)	474 (94.0)	430	0	430		
70歳以上	15 (11.1)	121 (88.9)	126	0	126		

男性年齢($\chi^2=0.7, df=3, p=0.920$)・女性年齢($\chi^2=2.0, df=3, p=0.571$)・性別($\chi^2=22, df=1, p=0.172$)

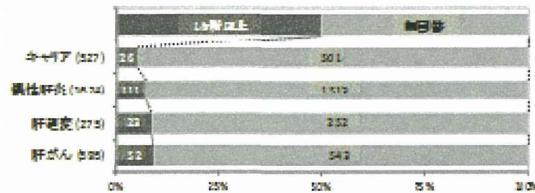


図表 5c-7 かかりつけ診療所(G-2(c))×病態

G-2(c) B型肝炎の検査や治療のために、現在何箇所のかかりつけ診療所に通院されていますか。(単一回答)

	1		2		3ヶ所以上は別回答数を分母とする積算		
	1ヶ所以上	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答
TOTAL	212 (7.0)	2809 (93.0)	2,020	0	0	0	3,021
キャリア (527)	26 (4.9)	501 (95.1)	527	0	0	0	527
慢性肝炎 (1,873)	111 (5.9)	1,513 (80.3)	1,824	0	0	0	1,824
肝硬変 (275)	23 (8.4)	252 (91.6)	275	0	0	0	275
肝がん (59)	12 (20.3)	47 (79.7)	59	0	0	0	59

$\chi^2=7.1, df=3, p<0.070$



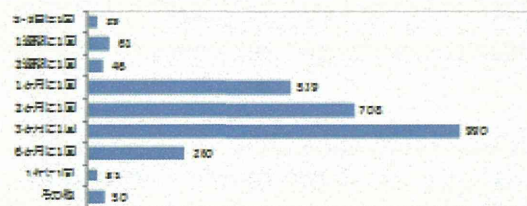
B型肝炎の検査や治療のために通院している医療機関について尋ねたところ、有効回答者の1.9%は肝疾患専門医療機関に2ヶ所以上通院していると回答している。かかりつけ病院は12.1%、かかりつけ診療所は7.0%が1ヶ所以上通院している(図表 5c-1)。専門病院への通院に関して、男女別に見ると、「2ヶ所以上」は男性の方が多い。年齢別の有意差は見られなかった(図表 5c-2)。病態別には、病態が進行するほど「2ヶ所以上」が増加する(図表 5c-3)。かかりつけ病院への通院に関しては、年齢・性別による有意差は見られず(図表 5c-4)。病態別には、病態が進行するほどかかりつけ病院への通院者が増える傾向が見られた(図表 5c-5)。地方別に見ると、四国および九州・沖縄はかかりつけ病院に通院する患者が多い(図表非掲載)。かかりつけ診療所への通院に関しては、年齢・性別、病態、地域による有意差は見られなかった(図表 5c-6)(図表 5c-7)(地域は図表非掲載)。

図表 5c-8 通院頻度(3-3)

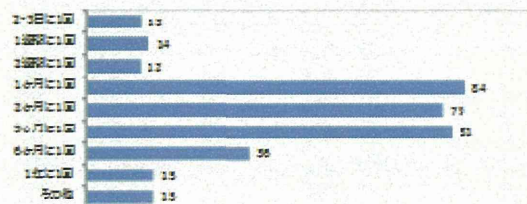
G-3 B型肝炎の検査や治療のために医療機関ごとに通院している回答者記入してください。同じ分類の医療機関に複数箇所通院している場合には、合計したものとしてお答えください。(単一回答)

注: 回答数 1 (有効回答数 14, 無回答 307)
有効回答率 8.6%

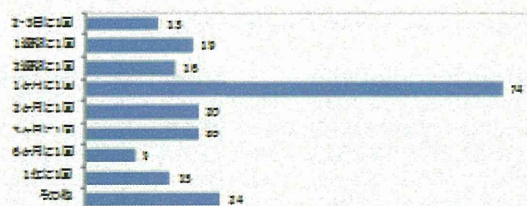
肝疾患専門医療機関



かかりつけ病院



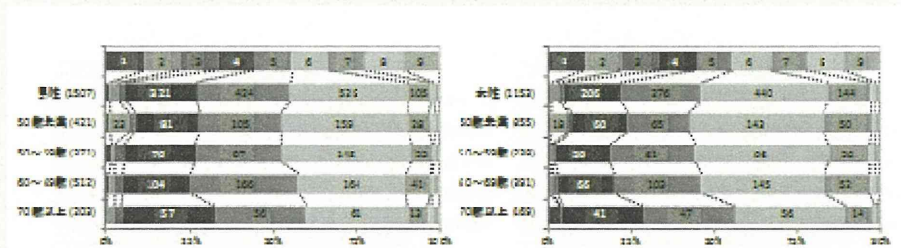
かかりつけ診療所



図表 5c-9 専門病院通院頻度(G-3(a))×年齢・性別(H-1・H-2)

0-24歳群の病室と分室の間に併用専門医療機関に滞在している患者を記入してある。同じ分室の医療機関に併用診療している場合は、分室のものとして扱った(注)。(歳-患者)

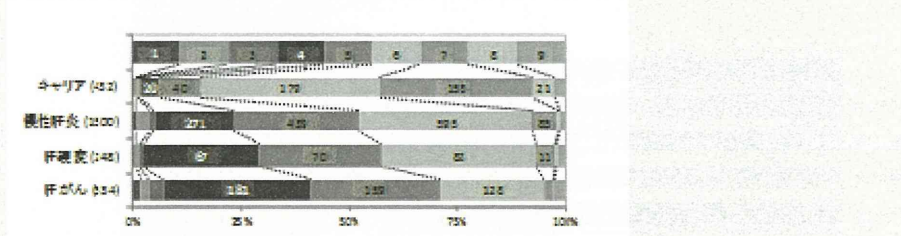
		年齢別								合計	割合	割合
		24歳以下	25-49歳	50-64歳	65-79歳	80-94歳	95歳以上	不明	合計			
TOTAL	5	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167
男性	4	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167
女性	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳未満	1	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167
20-29歳	1	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167
30-39歳	1	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167
40-49歳	1	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167
50-59歳	1	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167
60-69歳	1	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167
70歳以上	1	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167



図表 5c-10 専門病院通院頻度(G-3(a))×病種

0-24歳群の病室と分室の間に併用専門医療機関に滞在している患者を記入してある。同じ分室の医療機関に併用診療している場合は、分室のものとして扱った(注)。(歳-患者)

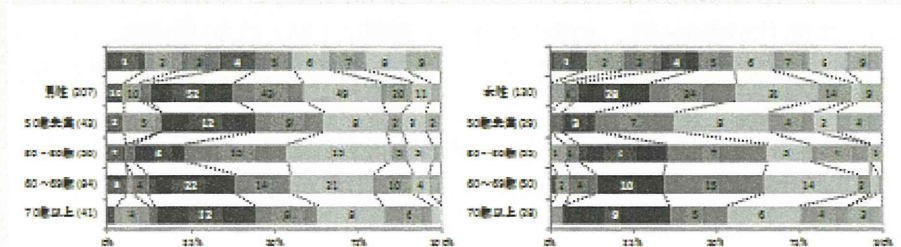
		年齢別								合計	割合	割合
		24歳以下	25-49歳	50-64歳	65-79歳	80-94歳	95歳以上	不明	合計			
TOTAL	4	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167
心臓病	4	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167
糖尿病	4	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167
腎臓病	1	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167
脳卒中	4	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167



図表 5c-11 がん専門病院通院頻度(G-3(b))×年齢・性別(H-1・H-2)

0-24歳群の病室と分室の間に併用がん専門医療機関に滞在している患者を記入してある。同じ分室の医療機関に併用診療している場合は、分室のものとして扱った(注)。(歳-患者)

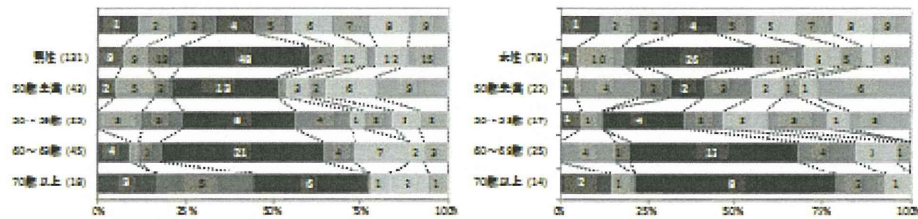
		年齢別								合計	割合	割合
		24歳以下	25-49歳	50-64歳	65-79歳	80-94歳	95歳以上	不明	合計			
TOTAL	4	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167
男性	4	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167
女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳未満	1	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167
20-29歳	1	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167
30-39歳	1	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167
40-49歳	1	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167
50-59歳	1	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167
60-69歳	1	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167
70歳以上	1	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167	167



図表 5c-13 かかりつけ診療所通院頻度(G-3(c))×年齢・性別(H-1,H-2)

G-3c B型肝炎の検査や治療のためにかかりつけ診療所に通院している回数(記入して下さい)、毎分館の医療機関に複数回通院している場合は、各回とも記入して下さい。(単一回答)

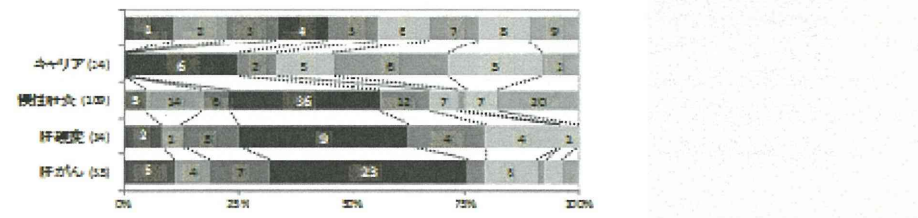
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10回以上	不明	回答数	割合	有効回答数	有効割合	
TOTAL	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
男性	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
女性	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5



図表 5c-14 かかりつけ診療所通院頻度(G-3(c))×病態

G-3c B型肝炎の検査や治療のためにかかりつけ診療所に通院している回数(記入して下さい)、毎分館の医療機関に複数回通院している場合は、各回とも記入して下さい。(単一回答)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10回以上	不明	回答数	割合	有効回答数	有効割合
TOTAL	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
キャリア	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
慢性肝炎	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
肝硬変	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5



B型肝炎の検査や治療のために、医療機関に通院していると回答した方へ、通院の頻度を尋ねたところ、肝疾患専門医療機関に通院している有効回答者の36.5%は「3ヶ月に1回」と回答している。

かかりつけ病院に通院している有効回答者の24.1%は「1ヶ月に1回」、かかりつけ診療所に通院している有効回答者の35.2%は「1ヶ月に1回」と回答している(図表5c-8)。

男女別に肝疾患専門医療機関への通院頻度を見ると、「1ヶ月に1回」、「2ヶ月に1回」は男性の方が多く、「6ヶ月に1回」は女性の方が多い。年齢別には、男性の場合、「1週間に1回」は50歳未満、「1ヶ月に1回」は70歳以上、「2ヶ月に1回」は60代が多かった。女性の場合、「1週間に1回」は50歳未満、「1ヶ月に1回」は70歳以上に多く見られた(図表5c-9)。かかりつけ病院、かかりつけ診療所は、男女別・年齢別の有意差は見られなかった(図表5c-11、図表5c-13)。

病態別に肝疾患専門医療機関への通院頻度を見ると、病態が進行するにつれて通院頻度が増加する傾向が見られる(図表5c-10)。かかりつけ病院、かかりつけ診療所でも同様の傾向が見られた(図表5c-12、図表5c-14)。

d. 救急外来/入院

図表 5d-1 救急(A-3)

A-3 あなたは肝臓の病気のために、救急外来を受診したことがありますか。(単一回答)

有効回答数1021 (総回答数2969,有効率34.4%)
回収率95.3%

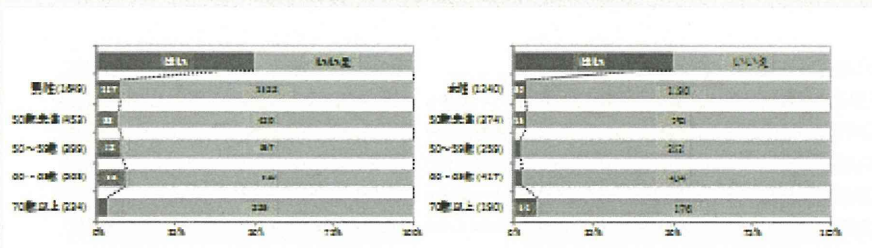


図表 5d-2 救急(A-3)×年齢・性別(H-1,H-2)

A-3 あなたは肝臓の病気のために、救急外来を受診したことがありますか。(単一回答)

	1		2		25歳以上の有効回答数4名とする集計		
	はい	いいえ	はい	いいえ	救急外来受診	無回答	有効回答
TOTAL	127 (12.2)	2712 (95.2)	2,220	50	2,269		
男性	127 (12.2)	1,222 (92.4)	1,079	20	1,099		
50歳未満	33 (7.2)	420 (92.7)	424	1	425		
50～59歳	32 (8.1)	367 (91.9)	402	3	399		
60～69歳	53 (24.1)	510 (95.8)	570	18	588		
70歳以上	7 (2.8)	225 (97.2)	244	10	254		
女性	50 (4.8)	1,190 (95.0)	1,200	20	1,220		
50歳未満	13 (4.2)	358 (95.7)	274	0	274		
50～59歳	7 (2.7)	252 (97.2)	200	1	201		
60～69歳	13 (2.1)	404 (97.8)	430	12	442		
70歳以上	14 (7.5)	176 (92.4)	196	8	204		

男性年齢 ($\chi^2=7.4, df=3, p<0.05$) 女性年齢 ($\chi^2=7.9, df=3, p<0.05$) 性別 ($\chi^2=18.6, df=1, p<0.001$)

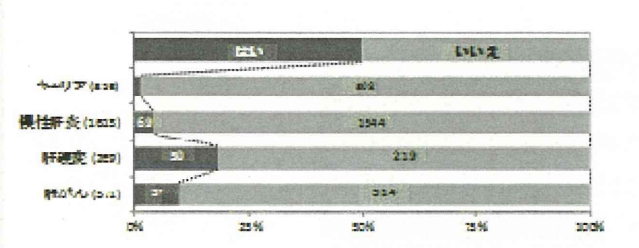


図表 5d-3 救急(A-3)×病態

A-3 あなたは肝臓の病気のために、救急外来を受診したことがありますか。(単一回答)

	1		2		25歳以上の有効回答数4名とする集計		
	はい	いいえ	はい	いいえ	救急外来受診	無回答	有効回答
TOTAL	124 (12.2)	2785 (95.0)	2,021	52	2,073		
ナシ/不明	2 (1.6)	508 (98.3)	477	11	488		
慢性肝炎	69 (12.2)	1,544 (97.7)	1,224	11	1,235		
肝硬変	50 (18.0)	219 (81.9)	275	8	283		
肝がん	57 (10.0)	514 (90.0)	525	24	549		

$\chi^2=114.5, df=3, p<0.001$



肝臓の病気による救急外来を受診について尋ねたところ、有効回答者の6.2%は受診したことがあると回答している(図表 5d-1)。男女別には、男性の方が救急受診率は高い。年齢別の有意差は見られなかった(図表 5d-2)。病態別には、肝硬変・肝がんの救急受診率が高い(図表 5d-3)。

救急外来を受診した理由について尋ねたところ、救急外来を受診したことがあると回答した方のうち、94.6%から回答を得ることができた。救急外来を受診した理由として、静脈瘤破裂による吐血、肝性脳症のためという回答が多かった(図表非掲載)。